

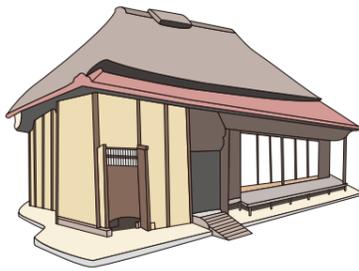
議案に対する修正案

議案甲第28号 多久市定住促進条例の一部を改正する条例に対する修正案

提案者：香月正則

市定住促進条例が平成31年3月31日で失効するため、2年間期限を延長するとともに、空家への居住及び親世帯との同居を促進するために、既存事業の要件緩和と拡充を行うものですが、今回の改正では空き家リフォーム補助金の対象を借主まで対象としており、公費で賃貸物件のリフォームや不要物の処分を補助するものでした。

これに対して修正案は『賃借される方』を対象から削除する事として提案し、賛成多数で承認されました。



総務文教委員会
審査報告



(議案甲第27号) 多久市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

原案どおり承認しました。

(議案甲第28号) 多久市定住促進条例の一部を改正する条例

審査の過程で、制度の中に借主に空き家リフォーム補助金を交付する内容があるが、貸主は家賃収入を得る以上、物件を居住可能にする義務があり、借主に対し補助する必要があるのか。補助を制度化するならば、借主に対し一定期間居住する条件提示が必要で、それなしに市民の理解を得ることは難しい等の意見がありました。

本議案は、賛成少数で承認しませんでした。

産業厚生委員会
審査報告



(議案甲第29号) 財産の取得について

審査の過程で、スポーツ・レクリエーション施設で市全体が活性化するように、取り組んでほしいとの意見が出されました。

本議案は、賛成多数で承認しました。



(議案甲第30号) 財産の取得について

市道の付け替えに伴う用地を取得するものです。原案どおり承認しました。

予算特別委員会
審査報告



(議案乙第42号) 平成30年度一般会計補正予算(第5号)

審査の過程で、図書館建設事業に要する債務負担行為として基本設計委託料1254万6千円、基本設計支援委託料378万円及び図書館建設事業に要する経費51万6千円について、今後控えている市立病院の建て替えや、弓道場の整備及びその後の維持管理、多久駅周辺区画整理事業、広域クリーンセンター建設に伴うスポーツレクリエーション施設の建設、北多久公民館の建て替え等、老朽化した公共施設の建て替えや大規模改修など不確定の部分が多い中、毎年6000万円以上の経費負担は現状認められない。

公共施設の建設については街づくり全体を考慮し、施設の再配置や統合についても十分な審議を行い計画を立てて行うべき等の意見があり、図書館建設に係る費用全額を削除した修正案が賛成多数で可決されました。

修正承認された部分を除く原案及び、その他の9議案については全会一致で承認しました。

委員会の活動報告



行政視察報告

総務文教委員会

① 神奈川県海老名市の「市立図書館の指定管理者導入及び中央図書館大規模改修」について

指定管理者制度を導入し、民間ノウハウを活かした利便性と居心地の良い場所として再生。開館日時を365日、午前9時から午後9時までとし、図書配架は見やすい分類毎に、



カフェと書店併設により利用者の拡大を図っています。

多久市でも、市民の皆さんとより良い施設整備が何かを十分に検討し、多くの市民の応援のもとで取り組むべきと感じました。

② 神奈川県秦野市「公共施設再配置の取り組み」について

持続可能な公共サービスの提供に向けて、現状の分析と課題を抽出し、行政、利用者双方の都合の悪い情報も包み隠さず記載した公共施設白書を公表し、現状と課題明らかにし、平成22年、公共施設再配置方針を定め、平成23年には公共施設の適



産業厚生委員会

① 愛知県豊田市「森林行政」について

「豊かな環境・資源・文化をはぐくむ森林の保全・創造を推進し、豊かな森を次世代に継承する」ことを目的とした「新・豊田市100年の森づくり構想」を策定し①取組の継続、②防災機能の強化、③生産・流通の低コスト化、④森の価値の向上、⑤森づくり人材の育成、⑥メリハリのある森林行政、の6項目に方向性を定め、取り組まれています。

正配置と効率的な管理運営を実現、持続可能な公共サービスの提供に向け公共施設再配置計画を策定されました。財政面の取り組みでは、PPP(公民連携)による郵便局開設や、空き会議室を民間の塾や講座等に貸出、市の駐車場にコンビニエンスストアを開設し、時間外の住民票の受け渡し、図書館図書の返却、市観光物の販売等を行い、公的サービス向上に寄与し、また、コンビニエンスストアのテナント料を庁舎の改修費用等に使われています。

多久市としても、現在直面している課題でもあり大いに参考になりました。



② 滋賀県大津市「市民通報システム」について

市民通報システムアプリを通じて、市内の道路、河川等で発生している危険箇所やゴミの不法投棄、公園遊具や施設の破損等を市へ通報すると、職員が投稿された写真の位置情報から効率良く現場状況を把握

多久市でも、間伐されていない森林が多く、計画的な管理方法を確認する為の森林区分の実施や、木材生産・流通の低コスト化を図るために、山から原木を直送できるような体制を含めた林業用道路の整備、木造公共施設建築などへの地域材活用などの施策検討が必要である。